

令和6年 9月17日 札幌市 提出

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年7月22日(12:00~14:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	管理者、ケアマネ、介護職員等 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	3人	9人

前回の改善計画	・新規利用者様の理解したこと、気付いたことを気付きノートに記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・口頭で気づきノートへの記載を伝えていたが、記載している職員、していない職員がいた現状があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7		1	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3	5		1	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	4	2		9

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時は関わる時間を多くして、事前情報との違いなどないか話を聞いている。 ・新規利用者様のフェイスシートに目を通して支援している。 ・朝の申し送りで情報共有しあえている。 ・カンファや書類で情報共有することが出来ている。 ・慣れない時期に積極的に関わり・声掛け、少しでも笑顔を引き出せる様に努力している。一緒に過ごして思いや様子を観察している。 ・事前情報から注意点が把握でき、コミュニケーションをとる事が出来た。 ・利用者様と積極的にコミュニケーションをとるよう心掛けていた。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始まで動きが速く、情報をカンファレンスで伝えきれないことがある。 ・家族・介護者の不安を受け止める事、関係作りがうまくできなかった。 ・不安の受け止め方や本人の慣れていない場合の対応が出来ていなかった。 ・生活歴や人生観に関する共有があまりできていなかった。 ・予想外の言動があり、うまく対応出来ないことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・本人のこれまでの生活や今後の生活の希望などを事前に情報収集して、見やすく、理解が出来るフォーマットで職員に提示する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	1人	9人

前回の改善計画	・プランに沿った支援を行う中で、本人の反応や行動の変化があればカンファレンスで話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様の変化は毎日の申し送りやカンファレンスの場で話し合えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	5	1	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	2		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5		1	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	4	1	9

できている点	・カンファレンスで本人・家族が望んでいる内容を伝えている。 ・カンファレンスでの情報やケアプランを意識して支援している。 ・利用者様の個人ファイルなどを確認して理解している。 ・目標は情報記録などを見て理解できている。 ・本人の希望や楽しめることを把握し、関わる事が出来た。 ・気づいたことがあったらスタッフ間で共有もしている。
--------	---

できていない点	・利用者様全員の本人の目標・当面の目標を把握していない。 ・報告・相談ができていないミーティング等で発言出来ても次の対応に活かしていない。内容をよく理解していないため実践できず、曖昧なまま終わってしまう。 ・ケアマネは理解していてもスタッフに周知が出来ず、チームケアとしての取り組みが出来ていない。 ・本人の訴えに、うまく対応出来ないことがあった。 ・本人がどんな生活を目標としているかは理解しているが、実際に支援に至らないことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・カンファレンス等で決定した対応は、速やかに申し送りノートに記載し全職員が把握し等しく対応出来るようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 7 月 22 日 (12:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	0人	9人

前回の改善計画
 ・日々の様子を観察して変化が見られた場合は、全職員に伝わるよう申し送る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・朝の申し送り等で変化などを伝えることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	5	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	3	4		9

できている点

- ・状況の変化があった時に朝の申し送りで対応検討している。
- ・利用者様に合わせた食事、入浴、排泄の基礎的な介護が出来ている。
- ・以前のおおまかな暮らしは把握できている。
- ・同じ認知症の方でも、その人に合わせてその時の気持ちを考えるよう支援している。
- ・目の前にいる利用者様を見るのではなく今に至るその方の人生を把握することで、その方の暮らしの様子を見ることで必要な支援は何かを考えるようにしている。
- ・気持ちや表情の変化があった場合、他職員の気付きを参考にして状態変化を共有している。
- ・食事や入浴・排泄等は、その都度情報交換できている。
- ・体調変化に気づいた時はスタッフ間で共有できている。

できていない点

- ・申し送り内容が各自のメモになり、翌日伝わらないことがある。
- ・気づきが遅いので変化に気づかないことがある。
- ・伝達が遅れることにより、共有が遅れるまたは共有されない時がある。
- ・気づきをミーティング等で共有するようにはしているが、言葉として発信することが出来ていない。
- ・軽度の変化について後回しにして忘れてしまうことがあった。
- ・現在の暮らし方には気づきがあるが、以前の暮らし方は情報を確認しながらでないとい 10 個以上把握できていなかった。

次回までの具体的な改善計画

- ・記録等電子化に移行する為、日々の日中・夜勤帯の特記事項を記載し、閲覧承認するシステムで周知。
- ・緊急事案等は全職員へ即時連絡を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	3人	1人	9人

前回の改善計画	・ご家族が電話や面会に来られた時に、最近の様子をお伝えする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご家族への連絡等は来館時に近況を伝えるようにしているが、業務量が多い際には伝えられなかったこともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	2		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	4	1	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	6		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	4	3	9

できている点	・利用者様の変化に気づいた時はケアマネや管理者に伝えて、ご家族に伝えて頂く事もある。自分でもご家族に会った時は伝えている。 ・ご家族からの電話や面会時に近居報告し、質問にも答えられるよう努めている。 ・状況変化時には直接連絡している。 ・これまでの生活スタイル・人間関係は大体理解している。 ・情報を繰り返し読み、利用者様本人と積極的にお話して理解を深めている。 ・アセスメントの際に今までの生活スタイル等についてはしっかりと確認するように心掛けている。
--------	--

できていない点	・利用者様の生活スタイル、人間関係の把握不足がある。 ・事業所外の時間の過ごし方は、把握している方もいるが把握しきれていない方もいる。 ・ご家族が来た時に伝えようと思っていた事項を、タイミングが合わずに伝えられないことがあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・利用者様の近況について、担当者がお手紙を作成し送付する。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	3人	2人	0人	9人

前回の改善計画

- ・制限がある中でも感染対策を徹底して面会の機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・制限可の中でもリモートや面会時間制限、外食の不可など、状況に合わせて面会対応ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	5	3	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7			9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	2	3	1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7	1		9

できている点

- ・外部利用者様に柔軟に対応出来ている。
- ・通い、訪問、宿泊が妥当適切に提供されている。
- ・日々の変化に気配りをして対応・支援している。
- ・本人の変化に気づいた場合は、他職員と情報共有して小多機の特性を生かし制約を緩くして対応することができた。
- ・申し送り・ミーティング、職員間の会話などで共有するようにしている。
- ・感染対策を徹底しながら買い物や散歩に同行している。
- ・訪問時などは色々とお話することを心掛けている。

できていない点

- ・地域資源を使った支援・活用がほぼ出来ていない状況である。
- ・コロナ禍であった為、事業所外の関わりをまだ持っていない。
- ・変化に気付くことが出来ない時もあった。
- ・共有は出来ていたが、解決に至っていない。
- ・ミーティング時に共有出来ているが、記録から変化を読み取ることは難しかった。
- ・利用者様一人一人の意見(ニーズ)を聞き支援に結びつけることが難しかった。

次回までの具体的な改善計画

- ・館内周りの地域資源の収集をし、活用をおこなっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画	・制限がある中でも感染対策を徹底して、外出機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・天候や時期に応じて花見など外出の機会は以前より増えたが、ある程度の歩行が可能な方などに偏ってしまう傾向があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		2	4	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			3	6	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	2	6	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				9	9

できている点	・医療機関、訪問看護、福祉用具事務所担当者との連携は取れている。 ・じゃがいもの会に参加して認知症の勉強会を開催した。 ・地域に住んでいるため、自治会や町内会活動には参加している。老人クラブやさつき会に参加している。 ・サービス担当者会議の実施、もしくは照会で他サービス機関との意見交換・意向の共有が出来ている。
--------	---

できていない点	・地域の行事参加がなくなった。 ・地域との接触はほとんどなかった。 ・事業所に訪れる方がほとんどいなかった。 ・自治会、町内会、婦人会に参加していなかった。 ・ケアマネ会議等への参加はしていない。 ・地域の団体や活動などを知らず、参加に結びつけることが出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・収集した社会資源や町内会・自治会等の活動に参加する。
---------------	-----------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

7. 運営

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	5人	9人

前回の改善計画	・利用者様やご家族、地域の方からの要望があれば、対応を検討して本社に提起する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・駐車場利用管理についての要望があり、本社に報告して対応を行って頂いた。 要望があれば本社に提起することは出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	2	4	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	4	3	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			3	6	9

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の困ったことには気づき対応している。 ・利用者様からの苦情には話し合っ解決の対策を行っている。 ・運営推進会議で地域の意見を聞いて対応している。 ・地域の方からの意見や苦情を管理者に伝えている。 ・管理者・ケアマネなどに利用者様の意見を報告するようにしている。 ・事業所のあり方については管理者に意見を伝えることも必要時行っている。 ・地域に住んでいて苦情や要望を聞くことがあり、管理者に伝えている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・外部・地域の方々との関わりを持つことが出来ていない。 ・コロナ後でも感染を危惧して地域との接触は少なく、地域における事業所のあり方等について取り組むことが出来なかった。 ・地域と協働した取組みを行うことが出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・地域活動に参加して、地域の方々に当館を認識して頂けるよう働きかける。
---------------	-------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 7 月 22 日 (12 : 00~14 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	4 人	2 人	9 人

前回の改善計画

- ・ヒヤリハットを積極的に記載して、事故を未然に防ぐ。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ヒヤリハットの書式が複雑だったこともあり、記載がしにくく記載数が増加することが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		6	3		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	3	2	9
③	地域連絡会に参加していますか			3	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	4	2	9

できている点

- ・ショートステイ利用は柔軟に対応出来ている。
- ・実務者研修、小多機研修に参加した。
- ・資格取得に向けて動くことが出来た。
- ・外部の研修を回覧で提示したことにより、小多機連絡協議会研修に参加した。
- ・事故を起こさないよう毎日心掛けている。

できていない点

- ・外部研修に参加することが出来ていない。
- ・資格取得やスキルアップの研修に積極的に参加する意欲が足りなかった。
- ・内部・外部研修に参加していない。
- ・業務多忙もあり、地域主催の会議に出席出来ていなかった。

次回までの具体的な改善計画

- ・外部講師による内部研修の開催や外部研修に積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年7月22日(12:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者、ケアマネ、介護職員 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束・虐待について勉強会を実施して理解を深める。 ・声掛けの言葉が適切であるか意識しながら伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待について内部研修は行い学習をする機会を設けてはいたが、職員における共通理解を図ったかの確認は出来ずに今日に至ってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4		4	1	9
②	虐待は行われていない	5	4			9
③	プライバシーが守られている	2	7			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	1	3	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	2	3		9

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの場面で利用者様の立場を優先している。 ・個人情報は適切に管理し、使用時の承諾を得ている。ファイルは持ち出すことなく管理している。 ・個人では虐待は行っていない。 ・声掛けが適切か意識して対応している。 ・プライバシーの管理は必要な内容を共有している。 ・成年後見制度が必要な方は相談しながら対応できている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレへ歩行介助して入り、ドアを閉め忘れたことがあった。 ・身体拘束について十分な知識が得られていない面もあり、協議する場面もあった。 ・個人情報を机の上に広げたまま席を離れることがある ・行われていることに対して注意出来ないことがある。 ・成年後見制度に関わっていない。 ・声掛け時の“伝え方”“聞き方”“相手の話をきちんと聞く”ことが大事だと感じた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の良かった支援や対応などをカンファレンスの場で伝え、適切なケアや不適切なケアに対しての精査を行い支援に繋げる。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 じょうてつケアサービス	代表者	井戸 重博	法人・ 事業所 の特徴	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め利用者と対等な関係に基づき、他の居宅介護支援事業者や保健医療サービス及び福祉サービス提供者との連携を密にし、地域福祉の拠点として利用者から信頼される事業所づくりを目指し行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 菜の花北丘珠館	管理者	天野 夏樹		

評価人員	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	10人	1人	0人	9人	0人	23人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者様の理解したこと、気付いたことを気付きノートに記載する。 ・プランに沿った支援を行う中で、本人の反応や行動の変化があればカンファレンスで話し合う。 ・日々の様子を観察して変化が見られた場合は、全職員に伝わるよう申し送る。 ・ヒヤリハットを積極的に記載して、事故を未然に防ぐ。 ・身体拘束・虐待について勉強会を実施して理解を深める。 ・声掛けの言葉が適切であるか意識しながら伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で気づきノートへの記載を伝えていたが、記載している職員、していない職員がいた現状があった。 ・利用者様の変化は毎日の申し送りやカンファレンスの場で話し合えた。 ・朝の申し送り等で変化などを伝えることが出来た。 ・ヒヤリハットの書式が複雑だったこともあり、記載がしにくく記載数が増加することが出来なかった。 ・身体拘束、虐待について内部研修を行い学習をする機会を設けてはいたが、職員における共通理解を図ったかの確認は出来ずに今日に至ってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の自己評価を拝見し、各職員様が様々な事を工夫し取り組んでいるのが確認出来ました。 ・十分に行えている。 ・担当者からのお手紙とスタッフの負担にならない様に、その分利用者様との関わりを持って頂くことを希望いたします。 ・多くの利用者の情報共有や申し送り等、とても大変だなと感じていると同時に、細かく対応していただき感謝している。多忙な中でこれらのことを行っていくのには効率化が求められると思う。改善計画にあった記録等の電子化と閲覧承認システムも良いと思う。記録や申し送りに使えるツールやアプリ等の利用などはどうかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のこれまでの生活や今後の生活の希望などを事前に情報収集して、見やすく、理解が出来るフォーマットで職員に提示する。 ・カンファレンス等で決定した対応は、速やかに申し送りノートに記載し全職員が把握し等しく対応が出来るようにする。 ・記録等電子化に移行する為、日々の中・夜勤帯の特記事項を記載し、閲覧承認するシステムで周知する。 ・外部講師による内部研修の開催や外部研修に積極的に参加する。 ・職員の良かった支援や対応などをカンファレンスの場で伝え、適切なケアや不適切なケアに対しての精査を行い支援に繋げる。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が電話や面会に来られた時に、最近の様子をお伝える。 ・制限がある中でも感染対策を徹底して面会の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族への連絡等は来館時に近況を伝えるようにしているが、業務量が多い際には伝えられなかったこともある。 ・制限可の中でもリモートや面会時間制限、外食の可・不可など、状況に合わせて面会対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人居心地が良いと言っており安心しています。スタッフの皆様、大変なお仕事、対応に感謝しております。 ・館内はいつも清潔が保たれていると感じる。 ・コロナ禍においては閉鎖的になり、ご家族様や外部との関わりも薄くなりがちですが、だからこそ細やかなご様子を施設側から連絡するという事が信用・信頼へと繋がっていくのだと思います。 ・事業所へ訪問させていただいた際、職員の方々も明るくご利用者様もゆったりと過ごされており、心地よい環境であると感じました。 ・毎月の菜の花通信で写真を見ることで何をしているか解るので良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の近況について、担当者がお手紙を作成し送付する。 ・館内周りの地域資源の収集をし、活用をおこなっていく。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様やご家族、地域の方からの要望があれば、対応を検討して本社に提起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用管理についての要望があり、本社に報告して対応を行って頂いた。 ・要望があれば本社に提起することは出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者本人が満足しているので安心しています。 ・地域の人は職員の顔を知らないと思う。職員と地域のつながりが、なかなか持てていないと感じる。 ・毎日電話をかけて頂いているが、名前を名乗って頂き、様子も伝えてくれるので心の準備ができて助かっている。ほとんどの職員の顔と名前も一致しており良い対応なので相談しやすい。電話の回数は多くて大変ですが、家族としては関心が持てるので助かっている。 ・事業所と地域の接点として、面会に行った際に丁度お花屋さんがいらしており、終了近くにご近所の方が「お花屋さん来てたんですね」とお話してくれていたの、利用者にとってもご近所さんにとっても利用できるような事柄があれば積極的に発信して(貼紙 or 町内会に知らせる)事業所を知ってもらう事や、利用者・スタッフさんと地域との交流のひとつとしていくと良い。 ・本人はお祭りでスタッフと観葉植物を変えたことを大変喜んでいました。植物を育てることが好きなので、家族として対応は嬉しいです。 ・事業所へ訪問させていただいた際、職員の方々が明るくあいさつしてくださり、事業所内も案内して頂き大変参考になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加して、地域の方々に当館を認識して頂けるよう働きかける。 ・館主催の活動を行う場合は、回覧板や掲示板を利用して地域にお知らせする。

			<ul style="list-style-type: none"> ・町内会は第1土曜日に開催しているが、現在は3か月に1回と少なくなっている。 ・じゃがいもの会は階段があるので登れる人でなければ参加が出来ない。児童館やまちづくりセンターでの活動であれば参加できないかと思う。 ・イベント等やっていることが解れば参加したい為、教えて欲しい。もっと交流の機会があれば良いと思う。子どもとの交流で児童館や小学校の運動会・学習発表会などはどうかと思う。 ・小学校の運動会では、事前に参加を伝えるとイスも出してくれるらしい。 	
<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制限がある中でも感染対策を徹底して、外出機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候や時期に応じて花見など外出の機会は以前より増えたが、ある程度の歩行が可能な方などに偏ってしまう傾向があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ5類への移行となり、各事業所それぞれの対応をされていると思いますが、徐々に外出や地域の行事への参加も増え、ご利用者様の刺激が多くなれば良いかと思えます。 ・コロナ感染に気を付けて今後に期待いたします。本人はお花見で外出した事を喜んでいました。ありがとうございます。 ・限られた人数のスタッフさんで地域行事等に参加するのは大変だと思われる。可能ならボランティアとか利用者の家族等を動員するとか何かしらの工夫が必要かと思う。 ・リスクを考えた上で決定しなければならないが、ご利用者様やご家族のご理解を得ながら、ボランティアや交流、外出等の様々な機会が増え、ご利用者様の笑顔が一つでも多くなれば良いと思えます。 ・畑が使われていなくてもったいない。部屋から畑が見えるので花だけでも植えられたら良いと思う。家族に声をかけてもらえれば本人と一緒に草むしりも出来るのではと思う。 ・地域との関わりで高校生ボランティアの活動はどうかと思う。⇒ 先生が変わり活動休止となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した社会資源や町内会・自治会等の活動に参加する。 ・段階的に地域の人との交流を進める。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>・運営推進会議に管理者以外の職員を順番に参加する。</p>	<p>・従業員が少なく会議に参加できて職員は1名のみだった。</p>	<p>・運営推進会議の議事録が読めると活動内容など解りやすいと思う。</p> <p>・保護者の私は地域に住んでいないので地域の事は解らない。</p> <p>・運営推進会議で地域住民の事例検討をすると、個人が特定されない範囲で事例検討、意見交換をすることも良い。</p> <p>・会議に参加することで、事業所の理解が深められるので良い。</p> <p>・ここが何の建物か知らない地域住民は多いと思う。ここの施設を公開して行う活動があると良いのではないか。</p>	<p>・運営推進会議の議事録を送付する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・内部研修で非常口、避難場所、救急対応、消火器の使い方等の勉強会を行う。</p>	<p>・避難訓練参加者は理解できたが、勉強会は開催出来なかった為参加者以外が理解を深めることは出来なかった。</p>	<p>・防災計画等までは把握出来ていなかったなので、今後教えて頂ければと思います。</p> <p>・災害時は事業所に頼らなければならない事が沢山あります。プレッシャーにならない様、訓練・勉強会を継続してください。</p> <p>・日頃の訓練と防災計画はあると思うので、いざという時の指揮・命令がしっかりしていれば良いと思う。地域の防災計画を知り、当館の事を伝えておくことや、いざという時の対応(ex.避難所に行かなくてはならなかった等)をシミュレーションしておく。</p>	<p>・火災発生時の初期消火・対応について訓練とは別に内部研修を行い理解を深める。</p>